

令和 3 年度 (第17期) 事業報告

令和 3 年度 (第17期) 決算報告

令和 4 年度 (第18期) 事業計画

令和 4 年度 (第18期) 予 算

株式会社野田自然共生ファーム

## 第 17 期 事 業 報 告

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き薬剤を減らした環境に優しい水稻の生産を行うとともに、自然環境維持管理業務、コウノトリ飼育事業及び施設管理業務に取り組みました。

しかし、市民農園につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度に引き続き今年度も中止としました。

船形地区においては、麦、大豆の生産及び販売、さらに野田市堆肥センター運営業務、新規就農支援事業、小船橋水辺公園管理業務、東葛飾地域農林業センター運営業務等を行ってまいりました。

また、農業経営については、効率的経営や品質向上に努めてまいりました。

### 1 江川地区の農業事業

#### (1) 水稻の生産

江川地区の水田については、圃場の均平化整備、除草作業等の管理を行うなど、自然と共生する環境保全型農業を推進しました。

しかし、今年度も圃場の排水の浸透状況が悪く、一部で収穫を断念した状況でした。

今年度の総収穫量及び出荷米等の数量は次のとおりです。

品 種 名	J A 出荷米	市民農園配布	一般販売	くず米	総収穫量
コシヒカリ	1 等 7,380kg	0kg	1,320kg	1,045kg	9,745kg

#### (2) 江川地区水田型市民農園

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度も中止としました。

#### (3) 農業体験学習等協力

##### 1) 地元小学校米作り農業体験学習協力

新型コロナウイルス感染防止対策を行い、福田第一小学校・第二小学校の生徒合同で田植えを実施しました。

しかし、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、稲刈りにつきましては中止としました。

##### 2) 地元中学校スペシャル・スタディ協力

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため福田中学校スペシャル・スタディは9月末までの活動中止となりましたが、11月6日に開催された福田中学校2年生が理科の体験学習として行ったスペシャル・スタディには協力しました。

##### 3) 中学生職場体験学習協力

11月9日に北部中学校において開催された職場体験学習では、コウノトリ飼育員が行う仕事内容をリモートで紹介しました。

## 2 船形地区の農業事業

### (1) 農業生産調整事業

令和3年産麦の集団転作事業に基づくブロックローテーション（ブロック3）及び固定団地併せて約74.6ヘクタールの水田を船形互助転作組合との協議により借地しました。

また、借地期間は1年とし、毎年10月1日から翌年9月30日まで借用しますが、大豆を作付けする水田については更に翌年2月頃まで借用しました。

なお、遊休農地（畑）3.2ヘクタールにも大麦を作付けしました。

### (2) 農業生産

#### 1) 麦栽培

麦については、大麦「カシマムギ」を約11.2ヘクタールに、小麦「さとのそら」を約59.3ヘクタールにそれぞれ播種し、令和3年5月から6月にかけて刈り取り作業を行った結果、収穫量は264.97トンでした。

収穫の状況については次のとおりです。

区 分		J A出荷	種子更新	くず麦	総収穫量
品 種	作付面積				
大 麦 (カシマムギ)	約 11.2ha	1等 52.24t	0t	1.87t	54.12t
小 麦 (さとのそら)	約 59.3ha	1等 6.00t 2等 176.00t 等外 27.50t	0t	1.35t	210.85t
合 計	約 70.5ha	261.74t	0t	3.22t	264.97t

#### 参 考

##### ア ブロックローテーション面積

ブロック1 約54.5ヘクタール

ブロック2 約55.8ヘクタール

ブロック3 約69.4ヘクタール

##### イ 固定団地面積

船形富士の下 約5.2ヘクタール

##### ウ 遊休農地面積 約3.1ヘクタール

#### 2) 大豆栽培

今年度の大豆については、タチナガハを15.7ヘクタールに、フクユタカを9.8ヘクタールに、サチユタカを12.0ヘクタールにそれぞれ播種しました。

その後、雑草抑制のため除草剤の散布や殺菌剤の散布、アブラムシ、ダニ類、コガネムシ、カメムシが異常発生したための防除等、生育状況に合わせた管理を行いました。

今年度は雨が多く、圃場自体の水位も高く若干の冠水がみられましたが、後半に順調な生育が見られました。

また、固定団地のフクユタカについては一部の大豆が倒伏しました。

収穫時期については、タチナガハを11月26日から12月4日まで、サチユタカを12月4日から12月11日まで、フクユタカを12月13日から12月25日まで、それぞれ実施しました。

収穫の状況については次のとおりです。

区 分		販 売		種子 更新	くず 大豆	総収穫量
品 種	作付面積	J A出荷	小 売			
タチナガハ	15.7ha	2等 14,700kg 3等 1,440kg	840kg	0kg	875kg	17,855kg
フクユタカ	9.8ha	1等 2,700kg 2等 6,420kg 3等 3,570kg	1,500kg	0kg	1,275kg	15,465kg
サチユタカ	12.0ha	2等 14,010kg	0kg	0kg	750kg	14,760kg
合 計	37.5ha	42,840kg	2,340kg	0kg	2,900kg	48,080kg

### 3 農業関係施設の運営事業

#### (1) 野田市堆肥センター運営業務受託事業

廃棄物の発生抑制、再利用を促進するため、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理を行いました。

また、もみ殻牛ふん堆肥や剪定枝等堆肥の運搬散布を行い、市独自の有機堆肥を使って生産した農産物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行いました。

さらに、野田市畜産クラスター推進協議会からの依頼により、8月から12月までの間は飼料用米の粳米を粉碎し、SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）の加工及び酪農家への運搬を実施しました。

#### 搬入量

- 1) 剪定枝・刈草・落葉搬入量・・・約 3, 287 トン
- 2) もみ殻回収量・・・・・・・・・・・・約 748 トン

#### 搬出・運搬量

- 1) 剪定枝等堆肥の搬出量・・・・・・・・約 2, 132 トン
- 2) もみ殻牛ふん堆肥の運搬量・・・・約 951 トン

#### 飼料用米粉砕加工（SGS）

- 1) 多収性品種米（加工量）・・・・・・・・約 131 トン

#### (2) 東葛飾地域農林業センター施設管理業務受託事業

農林業センターは、農林業従事者及びその後継者の農林業の経営、技術等に関する研修等に活用する施設です。今年度も昨年度同様、野田市の指示に基づき、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら施設の運営を行いました。

なお、当施設は令和4年3月31日をもって休館となりました。

#### 4 その他の受託事業

##### (1) 小船橋水辺公園管理業務受託事業

小船橋水辺公園管理業務については、市民の憩いの場としてレクリエーションや休憩など気軽に利用できるよう施設管理を行いました。

園内の管理 受託面積 約1.3ヘクタール	
除草・芝刈	芝生の刈取りと雑草の除草作業を年2回実施
高木の剪定	枝の剪定と整枝、片付け作業を年1回実施
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃を週1回実施
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回を週1回実施

##### (2) 江川地区自然環境維持管理業務受託事業

江川地区の自然環境調査、自然に配慮した農園の維持管理作業、自然環境を考慮した米づくりの実施等について、野田市の策定する「自然環境保護対策基本計画」に基づき維持管理を行いました。

##### (3) はきだし沼及び周辺の休耕地草刈業務受託事業

船形耕地のはきだし沼及びその周辺に生息する希少生物の生育環境整備のため除草作業を実施しました。

##### (4) 関宿落堀ビオトープ管理業務受託事業

関宿落堀ビオトープの除草作業3回及び月1回の見回りとゴミ拾いを実施しました。

##### (5) 尾崎地区保全業務受託事業

尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を回復させるための除草業務を実施しました。

#### 5 コウノトリ飼育及び飼育施設管理業務受託事業

コウノトリ飼育等業務を受託し、飼育管理を行うとともに、飼育員の知識や技術向上のための各種研修に参加しました。

また、飼育施設の管理、視察や見学者の対応などを行いました。

特に、兵庫県立コウノトリの郷公園から譲り受けた有精卵から雛2羽が孵化し8月11日に「リン」「ミズキ」と命名され、野田市こうのとりの里で昨年同様ソフトリリースによる放鳥が行われ、巣立ちました。

「リン」「ミズキ」は、9月まで関東近辺で生活していましたが、その後全国各地へ移動が確認されました。

令和4年1月には、施設上空を7羽のコウノトリが旋回する姿が見られ、2月14日には「ヤマト」「わたる」「のぞみ」「りょう」「J0351」の5羽のコウノトリが野田市江川地区に降り立ちました。

なお、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの、コウノトリ観察棟への入場者数（来館名簿記入者）は4,746名でした。

## 6 就農支援事業

市と協働で新規就農希望者に対して事業を実施しました。生産した野菜は、人参、ネギ、枝豆、キュウリ、ジャガイモ、ビーツ、ミニ白菜、アーティチョーク、トウモロコシ、生落花生、パプリカ、生姜類を栽培し総収量30,586キログラムを市場及び市内直売所へ出荷しました。

なお、本事業は、令和4年度から名称が「農業人材育成事業」に変更となります。

## 7 補助金関係等

- (1) 畑作物の直接支払交付金における面積払の交付金
- (2) 水田活用の直接支払交付金
- (3) 畑作物の直接支払交付金における数量払
- (4) 大規模ブロックローテーション促進事業補助金
- (5) 転作定着化促進事業補助金
- (6) 病虫害防除薬剤購入費用補助金及び地上防除奨励金
- (7) 野田市新規就農支援事業補助金

## 8 ホームページについて

各事業をPRするため、「Facebook」を活用し適時更新しました。

## 9 取締役及び他の役員（第17期 令和3年度）

区 分	氏 名	備 考
代表取締役	今 村 繁	野田市副市長
常務取締役	木 全 敏 夫	
取 締 役	宮 前 雅 明	野田市建設局長
取 締 役	宇 田 川 克 巳	野田市自然経済推進部長
取 締 役	伊 藤 敏 弘	船形事業所長
取 締 役	相 島 一 美	令和3年4月30日辞任
取 締 役	永 井 盛 雄	江川事業所長
取 締 役	小 林 弘 幸	令和3年6月1日就任
会 計 参 与	秋 葉 芳 秀	税理士
監 査 役	濱 田 宏 志	税理士

## 10 株式の状況（令和4年3月31日現在）

(1) 株主数・・・5名

(2) 株主

株 主 名	持 株 数	持株比率
千葉県野田市	6,206株	99.9195%
木 全 敏 夫	2株	0.0322%
伊 藤 敏 弘	1株	0.0161%
永 井 盛 雄	1株	0.0161%
小 林 弘 幸	1株	0.0161%

## 11 経過概要

### 令和3年4月1日から令和4年3月31日までの主な経過概要

月 日	曜日	主な経過概要
4月25日	日	市民農園 田植え中止（緊急事態宣言発出により）
4月28日	水	福田第一小学校・福田第二小学校 体験学習 田植え
5月2日	日	兵庫県立コウノトリの郷公園からコウノトリの卵移送
5月7日	金	コウノトリの雛2羽誕生
5月26日	水	定時取締役会 取締役辞任の件、市民農園全面中止の件、第17期事業報告及び決算報告書の承認の件、取締役1名選定の件、株式譲渡承認の件、定時株主総会の招集の件 定時株主総会 第17期事業報告及び決算報告書の承認の件、取締役1名承認の件、役員報酬の決定の件
6月7日	月	市民農園 草取り・自然観察会中止決定（緊急事態宣言発出により）
6月8日	火	大麦検査 52トン 全量1等
6月10日	木	令和3年度市民農園全面中止決定
7月7日	水	コウノトリ一斉捕獲
8月2日	月	緊急事態宣言発出のため、こうのとりの里臨時休館決定
8月11日	水	コウノトリ幼鳥「リン」「ミズキ」放鳥
9月1日	水	緊急事態宣言継続のため9月1日から9月30日までこうのとりの里臨時休館決定 緊急事態宣言継続のため9月1日から9月30日まで東葛飾地域農林業センター貸館業務中止決定
10月30日 ～31日	土 日	コウノトリ国際未来会議 豊岡市 木全常務取締役・永井取締役参加 野田市福田第一小学校・第二小学校オンライン参加
11月6日	土	福田中学校フィールドワーク協力
11月12日	金	北部中学校 職場体験学習 森本主任飼育員リモート参加
11月15日	月	就農支援事業所 1名が独立のため退職
11月24日	水	定時取締役会 第17期第2四半期事業報告書・経営状況報告、令和4年度水田型市民農園募集の件
12月7日	火	市川市で高病原性鳥インフルエンザ発生のため、臨時休館決定
12月11日 ～12日	土 日	第20回全国菜の花サミット 小山市 江川地区の取り組み発表 江川地区・コウノトリ関係展示及びコウノトリグッズ販売
12月12日	日	田んぼの生物多様性向上10年プロジェクトキックオフ集会 小山市 (株)野田自然共生ファーム継続加入で参加
1月4日	火	令和4年度江川地区水田型市民農園募集開始
1月15日	土	こうのとりの里 一般公開再開（鳥インフルエンザ影響解除）
1月24日	月	本社移転に伴う現地（木野崎農業構造改善センター）打合せ
1月26日	水	大豆品種「里のほほえみ」意見交換会 船形事業所参加
1月27日	木	コウノトリ有識者会議 リモート 木全常務取締役・永井取締役出席
3月10日	木	拠点植樹 江川地区 みどりのふるさとづくり実行委員会
3月15日	火	就農支援事業所 2名が独立のため退職
3月25日	金	I P P M研修・報告会 WEB会議 森本主任飼育員参加 (IPPM-OWS コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル)

3月28日	月	定時取締役会 第17期第3四半期事業報告の件、本社移転の件、江川事業所パワーハラスメント調査委任契約書締結の件、職場におけるハラスメント防止に関する規程制定の件、取締役1名辞任の件、市民農園開催の件、第18期事業計画及び予算承認の件
-------	---	--

第 1 7 期

# 決 算 報 告 書

令 和 3 年 4 月 1 日 から

令 和 4 年 3 月 3 1 日 まで

株 式 会 社 野 田 自 然 共 生 フ ァ ー ム  
( 法 人 番 号 :5040001072121)

## 貸借対照表

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

代表者 今村 繁

令和 4年 3月 31日 現在

(単位:円)

	金額		金額
( 資 産 の 部 )		( 負 債 の 部 )	
I 流 動 資 産	( 130,041,898 )	I 流 動 負 債	( 75,651,681 )
現 金 及 び 預 金	91,447,566	未 払 金	26,629,045
棚 卸 資 産	213,829	未 払 法 人 税 等	3,536,492
未 収 入 金	26,229,231	未 払 消 費 税 等	322,000
経 営 安 定 積 立 金	11,729,071	前 受 金	1,166,300
貸 倒 引 当 金	455,801	仮 受 金	41,052,013
△	33,600	源 泉 税 等 預 り 金	470,892
		賞 与 引 当 金	265,939
			2,209,000
II 固 定 資 産	( 245,128,382 )	II 固 定 負 債	( 16,443,000 )
有 形 固 定 資 産	( 244,986,122 )	長 期 借 入 金	7,800,000
建 構 物	29,230,644	長 期 未 払 金	5,187,000
機 械 及 び 装 置	1,587,600	退 職 給 付 引 当 金	3,456,000
車 両 搬 送 具	33,644,493		
工 具 器 具 及 び 備 品	11		
建 物 附 属 設 備	1,700,517		
土 地	3,914,112		
	174,908,745		
無 形 固 定 資 産	( 50,000 )		
保 証	50,000		
		負 債 の 部 合 計	92,094,681
投 資 そ の 他 の 資 産	( 92,260 )	( 純 資 産 の 部 )	
出 資 資 金	10,000	I 株 主 資 本	( 283,075,599 )
敷 金 ・ 入 会 金	10,000	1. 資 本 金	100,000,000
長 期 前 払 費 用	72,260	2. 資 本 剰 余 金	( 183,032,296 )
		(1) 資 本 準 備 金	155,275,000
		(2) そ の 他 資 本 剰 余 金	( 27,757,296 )
		そ の 他 資 本 剰 余 金	27,757,296
		3. 利 益 剰 余 金	( 43,303 )
		(1) そ の 他 利 益 剰 余 金	( 43,303 )
		繰 越 利 益 剰 余 金	43,303
		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	( 0 )
III 繰 延 資 産	( 0 )	III 新 株 予 約 権	( 0 )
		純 資 産 の 部 合 計	283,075,599
資 産 の 部 合 計	375,170,280	負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	375,170,280

**損 益 計 算 書**

商号 株式会社 野田自然共生ファーム

令和 3 年 4 月 1 日 から  
令和 4 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 売 上 高			
農 産 物 売 上 高	16,604,139		
業 務 受 託 収 入	119,270,744		
市 民 農 園 収 入	54,545		
作 付 助 成 金 ・ 交 付 金 収 入	80,737,946	216,667,374	216,667,374
II 売 上 原 価			
期 首 棚 卸 高		141,722	
商 品 仕 入 高	25,926		
市 場 等 出 荷 販 売 手 数	820,071	845,997	
当 期 製 品 製 造 原 価		202,017,840	
合 計		203,005,559	
期 末 棚 卸 高		67,645	202,937,914
売 上 総 利 益			13,729,460
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費			
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		44,847,489	44,847,489
営 業 損 失			31,118,029
IV 営 業 外 収 益			
受 取 一 般 補 助 金 収 入		368	
受 取 配 当 金 収 入		4,413,000	
雑 収		100	
		19,908,432	24,321,900
V 営 業 外 費 用			
支 払 利 息		45,682	
繰 延 資 産 償 却		16,174	61,856
経 常 損 失			6,857,985
VI 特 別 利 益			
固 定 資 産 売 却 益		185,242	
貸 倒 引 当 金 戻 益		23,400	208,642
VII 特 別 損 失			
固 定 資 産 売 却 除 却 損		13,162	13,162
税 引 前 当 期 純 損 失			6,662,505
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		322,064	322,064
当 期 純 損 失			6,984,569

## 販売費及び一般管理費の計算内訳

令和3年4月1日から  
令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額
広 告 宣 伝 費	1,339,182
イ ベ ン ト 費 用	10,000
役 員 報 酬	10,385,800
事 務 員 給 与	15,939,987
従 業 員 賞 与	1,855,000
法 定 福 利 費	3,386,592
厚 生 費	127,791
退 職 金	288,000
減 価 償 却 費	311,978
賃 借 料 ・ リ ー ス 料	1,793,080
修 繕 費	36,131
事 務 用 消 耗 品 費	1,778,278
通 信 費	2,443,925
水 道 光 熱 費	280,932
租 税 公 課	171,150
接 待 交 際 費	9,721
備 品 消 耗 品 費	1,836,276
管 理 諸 費	2,131,167
一 般 車 両 関 係 費	153,292
函 書 費 ・ 研 修 費	8,745
交 通 費	295,379
雑 費	265,083
合 計	44,847,489

## 棚卸資産の計算内訳

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額
農 産 物	67,645
原 材 料	184,041
未 収 穫 農 産 物	18,596,125
貯 蔵 品	7,381,420
合 計	26,229,231

## 製 造 原 価 報 告 書

令和 3 年 4 月 1 日 から  
令和 4 年 3 月 31 日 まで

(単位:円)

科 目	金 額
<b>I 材 料 費</b>	
期首材料棚卸高	49,582
種 苗 費	3,381,430
合 計	3,431,012
期末材料棚卸高	184,041
当期材料費	3,246,971
<b>II 労 務 費</b>	
賃 金	67,024,231
賞 与	7,489,300
退 職 金	180,000
法定福利費	13,206,736
厚生労働費	1,736,552
当期労務費	89,636,819
<b>III 経 費</b>	
肥料費・農薬衛生費	14,266,778
外注作業費	90,764
電力費	2,772,319
軽灯油等燃料費	10,606,451
運賃	15,160
減価償却費	17,590,118
修繕費	18,083,465
租税公課・負担金	1,045,050
賃借料・リース料	22,235,284
共済掛金・保険料	1,544,065
諸 資 材 費	12,283,908
農 具 費	541,599
交 通 費	1,570,347
図書費・研修費	539,005
車両関係費	4,263,518
土地改良費・水利費	2,084,509
雑 費	2,008,283
当期経費	111,540,623
当期総製造費用	204,424,413
期首農産物等棚卸高	16,189,552
合 計	220,613,965
期末農産物等棚卸高	18,596,125
当期製品製造原価	202,017,840

## 第 18 期 事業計画

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

江川地区においては、自然と共生する環境保全型農業を推進するため、引き続き減農薬による水稻の生産を行うとともに、自然環境維持管理業務など、更に自然と共生する農業を推進してまいります。

また、水田型市民農園につきましては、令和2年度及び3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け全面的に中止となりましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染状況を見極めた上で安全対策を行い、水田型市民農園を開催したいと考えております。

ただし、感染拡大の状況により、やむを得ず一部のスケジュール変更や、全面的な中止も検討します。

船形地区においては、引き続き麦及び大豆の生産・販売、小船橋水辺公園の管理業務等を行ってまいります。

次に、人材育成支援事業においては、人参・枝豆・ネギを中心とした野菜の生産・販売の実務研修を行ってまいります。

続いて、野田市からの委託事業として、堆肥センター運營業務、コウノトリ飼育及び施設管理業務、木野崎農業構造改善センターの施設管理業務を行ってまいります。

なお、農業経営については、引き続き効率的経営に努め、安定した経営を目指してまいります。

### 1 江川地区の農業事業

現在でも圃場の含水率が高く、作付けが困難な状況の場所がありますが、引き続き圃場の再整備を図り、収穫量増を目指してまいります。

#### (1) 圃場整備作業

水稻生産予定区域において圃場整備作業を実施する。

1) 作業内容 除草作業・水路の整備作業・均平整地作業・畦畔整備作業

#### (2) 水稻生産

1) 生産目標面積 約5.5ヘクタール（市民農園圃場含む）

2) 目標収穫量 約10トン

#### (3) 水田型市民農園の実施（コロナ感染状況により実施可能な場合）

面積 約2.1ヘクタール

募集内容 ファミリー型 500区画（500名）

オーナー型 40区画（1区画5名以上）

(4) エコロジカルネットワークへの取組み

- 1) コウノトリ野生復帰計画への全面的協力
- 2) 水路整備（魚道整備含む）
- 3) 里地里山の保全

(5) 江川地区自然環境保全管理業務

江川地区自然環境保護対策基本計画書に基づき、生物多様性が保全された江川地区を実現し、これを将来に渡り維持し、江川地区の里地・里山を良好に保全管理するため必要な業務を実施してまいります。

2 船形地区の農業事業

(1) 麦及び大豆の生産

水田における麦及び大豆の生産については、船形地区の水田を船形互助転作組合から借地して行うもので、千葉県東葛飾農業事務所の技術指導を受けて、栽培基準に基づき作業管理を行うとともに、従業員研修を通し、栽培技術のレベルアップと平準化を図り、品質及び収穫量の向上に努めてまいります。

適期作業の励行	気象条件と作業適期の検討	随時
土壌検査	地力、施肥量の把握	年2回
研修会	社内外研修会	年4回程度
令和3年産麦生産目標 (令和4年6月収穫予定)	作付面積	57.4ヘクタール
	大麦(カシマムギ)	12.2ヘクタール
	小麦(さとのそら)	45.2ヘクタール
	目標収穫量	138トン
	大麦	30トン
小麦	108トン	
令和4年産麦生産目標 (令和4年11月播種予定)	作付面積	62.1ヘクタール
	大麦(カシマムギ)	12.5ヘクタール
	小麦(さとのそら)	49.6ヘクタール
令和4年産大豆生産目標 (令和4年12月収穫予定)	作付面積	35.3ヘクタール
	タチナガハ	11.6ヘクタール
	フクユタカ	12.6ヘクタール
	サチユタカ	11.1ヘクタール
	目標収穫量	47トン
	タチナガハ	16トン
	フクユタカ	16トン
サチユタカ	15トン	

(2) 枝豆オーナー制度

野田市農産物ブランド化推進協議会からの開設依頼により、令和4年度も枝豆オーナー制度に係わる農園を継続して開設いたします。

3 農業関係施設の運営事業

(1) 野田市堆肥センター運營業務受託事業

廃棄物の発生抑制、再利用を促進し、剪定枝、刈草、落葉を活用して良質な堆肥を生産し、化学肥料の減量等による環境保全型農業を推進することにより、付加価値のある持続性の高い農業を展開するための施設の運営管理、もみ殻と牛ふんを使った有機肥料の生産と運搬散布を行い、市独自の有機肥料を使って生産した農作物のブランド化を推進するため適切な施設管理を行ってまいります。

さらに、野田市畜産クラスター推進協議会が実施する、もみ米SGS（ソフト・グレイン・サイレージ）加工作業の協力も含め、令和4年度も継続してこれらの事業を受託しようとするものです。

(2) 木野崎農業構造改善センター施設管理業務受託事業

令和4年4月1日から、本社を木野崎農業構造改善センター内に移転し、木野崎農業構造改善センター運営管理業務仕様書に基づき新規に受託しようとするものです。

4 その他の受託事業

(1) 小船橋水辺公園管理業務受託事業

市民の憩いの場として気軽に利用できる施設管理を下記のとおり行ってまいりました。

令和4年度も継続して管理を受託しようとするものです。

園内の管理		
除草・芝刈	雑草の除草作業と芝生の刈取り	年2回
高木の剪定	枝の剪定と整枝作業	年1回
園内の清掃	駐車場、トイレ、園路の清掃	週1回
公園の巡回	いたずら防止等園内の巡回	週1回

(2) はきだし沼及び周辺の休耕地草刈業務受託事業

希少生物の保護を目的として船形はきだし沼周辺の休耕地の草刈等について令和4年度も継続して受託しようとするものです。

(3) 関宿落堀ビオトープ管理業務受託事業

関宿落堀ビオトープの管理業務につきましては、年3回の草刈及び月1回の見回り等の管理を行っておりますが、令和4年度も継続して受託しようとするものです。

#### (4) 尾崎地区保全業務受託事業

尾崎地区の生物多様性の保全された良好な自然環境を回復させることを目的に尾崎地区保全業務を令和4年度も継続して受託しようとするものです。

#### 5 コウノトリ飼育及び飼育施設管理業務受託事業

野田市において平成24年12月4日から飼育を開始した国の特別天然記念物コウノトリについては毎年幼鳥が孵化し、7年連続で放鳥するなど順調に飼育管理をしてまいりました。

また、施設の展示物について、展示内容や展示方法を工夫するなど展示の充実を図るとともに、コウノトリの生息環境や生態についての普及啓発に努め、令和4年度も継続してコウノトリ飼育事業を受託しようとするものです。

#### 6 農業人材育成事業

令和3年度まで、「就農支援事業」として、新規就農希望者を採用して研修を行ってまいりましたが、令和4年度から、新規就農者の育成のほか、農業後継者等の担い手の農業機械の取扱い指導や農機オペレーターも育成する事業として「農業人材育成事業」と名称を変更し、事業を行ってまいります。

第 18 期 予算

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 3 1 日 単位：千円

収入				支出			
項目	予算額			項目	予算額		
	第17期	第18期	比較		第17期	第18期	比較
1 農業生産売上	50,644	47,527	-3,117	1 農業製造原価	201,056	216,496	15,440
(1) 水稲売上	2,000	2,000	0	(1) 材料費	3,000	3,000	0
(2) 麦売上	3,000	3,000	0	(2) 労務費	27,390	33,260	5,870
(3) 大豆売上	7,000	7,000	0	(3) 農業経費	48,711	58,019	9,308
(4) 市民農園売上/枝豆売上	700	618	-82	① 肥料費・農業衛生費	11,308	20,881	9,573
(5) 経営所得安定対策等(国)	37,944	34,909	-3,035	② 電力費	1,100	1,397	297
2 農業受託売上	133,059	131,508	-1,551	③ 軽油等燃料費	4,000	4,000	0
① 小船橋水辺公園管理	1,563	1,563	0	④ 修繕費	3,740	3,300	-440
② 自然環境維持管理業務	6,400	6,400	0	⑤ 賃借料・リース料	1,210	1,320	110
③ 堆肥センター運営業務	102,658	102,804	146	⑥ 共済掛金・保険料	1,624	1,930	306
(堆肥センター)	60,104	53,603	-6,501	⑦ 麦田地賃借料	19,000	18,146	-854
(もみ殻施設)	42,554	49,201	6,647	⑧ 土地改良費・水利権	2,085	2,085	0
④ 木野崎農業構造改善センター運営管理業務	2,226	1,300	-926	⑨ その他	4,644	4,960	316
⑤ 休耕地草刈等	1,066	1,066	0	(4) 小船橋水辺公園	1,483	1,483	0
⑥ コウノトリ飼育等委託業務	18,180	17,409	-771	(5) 自然環境維持	5,970	5,970	0
⑦ 冬期湛水水田管理委託	600	600	0	(6) 堆肥センター	95,902	96,896	994
⑧ 関宿落堀ピオトープ管理業務	366	366	0	(7) 休耕地草刈等	1,008	1,008	0
3 補助金収入	26,941	30,106	3,165	(8) コウノトリ飼育等	17,245	16,513	-732
(1) 県補助金	6,067	9,141	3,074	(9) 関宿落堀ピオトープ	347	347	0
(2) 市補助金	0	0	0	2 販売及び一般管理費	26,865	30,508	3,643
(3) 農業者人材育成事業	17,159	17,075	-84	(1) 木野崎農業構造改善センター運営管理業務	2,226	1,300	-926
(4) 転作定着化促進事業	0	0	0	(2) 人件費等	19,531	23,007	3,476
(5) 地上防除奨励金・薬剤購入補助金	3,715	3,890	175	(3) その他	5,108	6,201	1,093
4 雑収入	13,800	13,800	0	小計	227,921	247,004	19,083
補償料等(線下保障等)	13,800	13,800	0	3 就農支援事業費	16,130	17,075	945
小計	224,444	222,941	-1,503	4 退職金積立金	468	468	0
5 資本金・資本準備金	33,388	64,066	30,678	5 機械等購入費	13,313	22,460	9,147
				6 農地取得費	0	0	0
小計	33,388	64,066	30,678	小計	29,911	40,003	10,092
合計	257,832	287,007	29,175	合計	257,832	287,007	29,175